

市民が育てる
東京・未来

ひろよしあつこ
広吉敦子の

目黒・生活者ネットワーク

おひさまレポート

OHISAMA REPORT 2014. 4. 15 No. 87

発行責任者/今井真理 〒152-0003 目黒区碑文谷6-1-19 アネックスST 1階 TEL/FAX 03-3791-8069 http://meguro.seikatsusha.net

憲法と特定秘密保護法勉強会

政治家にとって「めんどくさい」国民になろう

昨年末に強行採決で可決されてしまった秘密保護法とその前後で肅々と進んでる改憲の動きは、日本が危ない方向に進んでいるのではないかと肌で感じ、学習会を開催しました。今の改憲の動きに警笛を鳴らしている若手女性弁護士の宗さんに講師をお願いしました。

驚くべき憲法草案の中身

「憲法とはそもそも権力を縛るものなので、今の憲法が権力を縛ってやりたいことができないから、憲法を変えてやりたいことをできるようにしよう!」というのが今の改憲の動きです。その「やりたいこと」とは、戦争ができる国にしたいことです。そのために自民党案では前文からは「不戦の誓い」と「国民主権」を削除し、国防の精神を強調しています。9条は個別的、集团的自衛、人道的介入等の理由をつければ、全て戦争は許されるようになり、総理大臣が最高指揮官の国防軍の項目を加え、事前の国会の承認もなく内閣総理大臣の判断で国防軍を行動させることができるようになっているのです。

18条は「社会的又は経済的において身体を拘束されない」となっていますが、軍事的関係では拘束されるため、徴兵制も可能になるのです。なんと驚いたことに橋下徹、鳩山由紀夫、東国原英夫、渡辺美樹、石原慎太郎、桜井よし子、加地伸行、安倍晋三、田母神俊雄、曾根綾子、岩見隆夫が徴兵制を公言しているのです。

法案通過後をシュミレーション

「戦争ができる体制になり、戦争に反対したくても表現の自由が制約され反対しにくくなる」「また、反対しない国民を養成する教育が加速する」「情報が制約され重要な情報を知る事が困難になり、社会保障は後退し、自己責任により格差はさらに拡大する」等、まるで戦時中のようです。

さらに怖いことには今アメリカから集团的自衛権を進めよとの圧力がかかっており、遠くない時期に改憲が成立してしまうかもしれないということです。

できることはある!

日弁連は既に対策委員会を作り、特定秘密保護法は現在の憲法に抵触しているため「違法!」だと言って反対しています。

私たちは、国会議員に「特定秘密保護法廃止法」「特定秘密保護法制定延期法」「国会や裁判所が権力を見張る権限を強化する法律」の申し入れや、国際スタンダードに合わせるよう「法改正」を要求することなどできます。本当の民主主義や立憲主義を実現するために、すぐにかかりせず、諦めないで、粘り強く、国民が権力に対して「めんどくさい動き」をすることです。^{※1}TVや新聞からだけではなく、^{※2}IWJ等インターネットからも情報を取り、改憲の動きに敏感になりましょう。生活者ネットワークは勉強会や議論の場をつくり、「めんどくさい国民であること」の気運を高めていきます。



広吉敦子

※1 TVでもテレビ朝日のモーニングバード木曜放送、玉川徹のそもそも総研ニュース解説は参考になる。

※2 IWJ: 若上山安身が設立した、新しいジャーナリズムのあり方を具現化するインターネット報道メディア。

郵便はがき

切手代は
カンパで
お願いします

〒152-0003

目黒区碑文谷6-1-19
アネックスST 1階

目黒・生活者ネットワーク
区議会議員 広吉敦子 行

おひさまレポート購読・上映会・ライブ 申込み

※該当に○をつけてください。

<input type="checkbox"/>	おひさまレポート購読
<input type="checkbox"/>	5月11日(日)「もったいない!」上映会
<input type="checkbox"/>	5月31日(土)松元ヒロ爆笑ライブ

ご住所

ふりがな
お名前

TEL/Fax

シリーズ 「原発0をめざして!」

可燃ごみから資源をレスキュー!これも立派な省エネ!
～家庭系可燃ごみの半分以上を占める紙類～

「紙」はご存知のとおり、輸木を原料としています。現在、禁止されているものかわからず、半分の原料とするためにインドネシアなどの自然林が大量伐採されています。このことを避けるためにも古紙を資源とした再生紙を利用しましょう。

まず、資源となる古紙をリサイクルするためにはきちんとした分別が重要です。古紙は家庭や企業から収集された後、古紙間で分別されます。ベルトコンベアで運ばれる古紙から、束ねているビニール紐や不適切なものを外します。この作業は危険を伴う重労働です。最終的には、目視で有価物(車など)や、不適合物を取り除きます。こうして何度もチェックされて、ようやく原料になります。是非、資源として出したものが一俵側に生まれ変わっていくのを知り、出す側が配慮したいものです。

パーシパルは外国から運ぶ時にもたくさんのエネルギーを使います。ほとんどが国内で生産される古紙を利用すれば省エネにつながります。「紙」も「地産地消」がいいね!

環境ナビゲーター 室井泰子



具体的に資源として救出できるものを確認しながら簡単に分別できます。